

資料3-3

厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業
「高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究」
高齢者がん医療協議会（コンソーシアム）運営委員会
議事録

日 時：2019年3月3日（日） 16時~18時

会 場：TKP 横浜ランドマークタワー ミーティングルーム L

横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 横浜ランドマークタワー25F

出席者：田村和夫、長島文夫、水谷友紀、松岡 歩、西嶋智洋、高橋昌宏、山本 寛

（欠席）津端由佳里（事務局）生駒規子

議 題：

- ・本研究の概要と協議会（コンソーシアム）の位置づけ
- ・協議会（コンソーシアム）設立の趣旨（1月19日発足）
- ・協議会（コンソーシアム）のメンバーと運営規定の確認
- ・運営委員自己紹介
- ・運営委員の役割
- ・運営内規
- ・活動方針

2018年度3月まで

2019年度

1.本研究の概要と田村小班と長島小班の目的、コンソーシアム設立の趣旨(1月19日発足)、その位置づけについて、資料に基づき説明があった。

2.コンソーシアムの構成メンバーと運営規定について説明が行われた。

構成員は、本研究班全員と23のがん関連の学会・団体、老年医学会の代表から成ること。ただ、研究計画書には記載があるが、コンソーシアムの構成図に老年医学会が入っていないので追記する。

3.本研究班の研究の進捗状況を資料に基づき説明が行われた。

医学部、医学研究科、地域がん診療拠点・連携拠点病院に対するアンケート調査結果の概要が西嶋委員より報告があった。また、高齢者がん医療 Q&A の総論部分が完成し、現在 public comment 応募中である。

長島小班は5回の班会議を開催し、ガイドライン策定にかかわる総論をまとめた。

4.運営委員会の内規について資料に基づき議論が行われ、委員の役割、委員会の業務につい

て修正・確認した。

委員の互選により委員長を水谷委員、副委員長を松岡委員（4-5月はフランス、Prof. Brainの施設に短期留学）が務めることになった。

活動が軌道に乗るまでは、6人のメンバーで運営し、外科系、薬学系、看護系の委員は順次検討、追加していく。

運営内規の修正事項としては、

第3条

（3）高齢者がん医療の発展、それを担う人材育成のための事業を企画し実施する。

（運営委員会の運営）

第4条 本委員会は、協議会の業務の目的（企画立案、事業の実施）達成のために適宜開催される。

5.活動方針

2018年度3月まで

3月16日、高齢者がん医療を考える会議2では、患者・家族、一般市民、マスコミと医療者（高齢者がん医療Q&A執筆担当者、編集委員）が議論する場として設定。10人のパネリスト間の議論、聴講者とパネリストの間の討論を予定。議論する項目を参加者からも得るために会の当日、アンケートをとって、その中で重要と思われる課題を抽出して討論する。1課題30分で3課題、計90分を予定する。高齢者の検診、認知障害と意思決定支援はぜひ短時間でもとりあげる。

2019年度

高齢者がん医療Q&Aの各論を完成、長島小班の計画に基づき、ガイドライン策定の枠組みを作るためのopenな検討会を4回開催する。その成果として、各がん関連学会が診療ガイドラインを作成・改訂するにあたって、高齢者のがん診療の留意点を提示する。進捗状況に応じて、老年腫瘍学のテキストブック、あるいは、ガイドライン策定に向けての委員会の設置も検討していく。

文責：田村和夫